

地域に新たな価値を生む、ごみ処理施設を目指したい



広域ごみ処理施設 建設候補地の選定方法は公募に決定

問 環境政策課 (☎内線540)

9月13日、中津川市と恵那市が計画している広域ごみ処理施設の建設候補地を検討するため、第2回検討委員会を開催し、公募で建設候補地を選定する方針を決定しました。
詳しくは中津川・恵那広域行政推進協議会ホームページをご覧ください。



知ってほしい①

中津川市・恵那市 ごみ処理施設の老朽化問題
新ごみ処理施設整備を計画



知ってほしい②

ごみ処理の広域化って何だろう？

現在、各市で処理しているごみを、自治体の枠を超えて1カ所で処理することです。両市は、ごみ処理施設の老朽化、将来ごみ量の減少、広域化や集約化を進める国の方針など、時代の変化や課題に対応するため、ごみ処理の広域化に向けて話し合いをしています。

施設の寿命ってどれくらい？
老朽化した処理施設

ごみ処理施設の耐久年数は、一般的に20～30年程度とされ、両市のごみ処理施設は、竣工から20年以上が経過し更新時期を迎えています。

一般にごみ処理施設の設置決定後、手続きや建設などで5年以上が必要とされ、設置場所を決定する時期が近づいています。

知ってほしい③

予定 | 令和7年 4月 建設候補地を募集

新ごみ処理施設の建設候補地の公募を行い、令和7年度中に候補地を決定する予定です。公募にあたっては、地域説明会や相談窓口を設置し、市民の皆さんから広く意見を伺います。

また、ごみ処理施設の仕組みや検討委員会の経過、広域化の必要性などをお知らせし、地域に根付いた、新たな価値を生む施設の建設を目指します。

項目／月	令和7年度									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	◎決定
建設候補地選定	★公募開始									
	公募期間（4カ月）				審査・現地調査					

施設整備の流れ

新施設は令和15年度に稼働開始を目指しています

令和15年度の稼働に向け、今年度は施設整備基本構想を策定し、施設整備の方向性の指針とします。
令和7年1月には、パブリックコメントを実施し中津川市・恵那市の皆さんの意見を募集する予定です。

令和6年度

施設整備基本構想策定

令和7年—8年度

施設整備基本計画策定

令和9年—10年度

発注支援/事業者の決定

令和11年—14年度

建設工事/新施設の建設